

## 事例紹介

# パネルのパフォーマンスをうまく引き出して活用する

事業所名称	社会福祉法人 更生会	施設概要	パネル：20.7kW パワコン：15kW 蓄電池：16.4kWh
施設名	本社	電力用途	平常時：事務所の照明、PC、エアコンに使用 停電時：PCのサーバー（6事業所に繋がっている）に使用
所在地	南九州市颯娃町別府	発電開始	令和3年

取組のきっかけ	停電がよく起こるため、BPC対策として取り組んだ。
事業の取組方法	自家消費用に太陽光発電設備及び蓄電池を整備した。 太陽光パネルは消費施設の屋上に設置している。 余剰分の売電契約（九州電力）はしている。FIT契約はしていない。
事業の成果	電気代（使用料そのもの）が削減できた。
課題	雨天時に出力が下がり、買電量が増える。
今後の展開	別府中学校跡地に太陽光パネルを設置することやV2Hの設置、EVの導入を検討している。

年間増収効果	年間CO2削減量
約73万円 (削減電力から算定)	6.3トン

### 注目ポイント

- ・20kWのパネルに11kWのPCSを組合わせて低照度でも安定出力を確保している。
- ・電力使用状況の分析、パネル出力、蓄電池容量を適正に設計して最高のパフォーマンスを引き出している。



↑ 直電池（事務所外壁）

← 太陽光パネル（屋上設置）